

しあわせの村の活用検討に関するサウンディング型市場調査の結果概要

しあわせの村は開村から35年以上が経過し、施設の老朽化や施設によっては利用者がコロナ前まで戻ってきていないなどの課題を抱えています。魅力向上や持続可能な運営に向けた今後の方針性検討に活用するため、サウンディング型市場調査を実施しました。その結果を公表します。

※提案内容は検討の初期段階や構想段階のものを含みます。

1. 参加事業者数

- (1) 現地見学会 ・・・ 15社
(2) 提案提出・意見交換 ・・・ 13社 (不動産関連4社、宿泊・レジャー関連4社、医療・福祉関連2社、建設関連2社、その他1社)

2. 提案概要※以下、主な意見を記載

- (1) 課題、市が担うべき役割や負担
- ・利便施設など、しあわせの村の価値をより高める取り組みが必要
 - ・初期投資や指定管理による運営に市の負担が必要
- (2) 提案内容
- ①こども・子育て世帯の利用に関する提案
遊具の設置、体験教育施設、子育て世代や青少年の育成につながるプログラム など
 - ②レジャー利用に関する提案
体験型機能の充実、キャンプエリアの魅力化、雨よけ屋根の設置 など
 - ③福祉・医療関連の利用に関する提案
高齢者施設や医療施設の配置 など
 - ④その他
壁紙を活用した空間デザインに関する提案、施設管理の統括マネジメントに関する提案 など
- (3) 各提案の事業手法
- 提案内容による (指定管理者制度、Park-PFI、コンセッション方式、賃借など)

3. サウンディング結果のまとめ

サウンディング調査の実施により、しあわせの村のポテンシャルや課題などについて意見交換を行うことができました。この度の意見交換を通じて得られた知見を参考に、しあわせの村全体の方向性を検討します。今後も、子どもから大人まですべての市民がいつでも楽しめるしあわせの村であり続けるために検討を進めていきます。